

講演会と筍掘りへのご招待

地域文化・芸術フォーラムみとよ

主催：地域の明日を考える会、中四国縮小社会研究会

日：4月27日(土) 13時-17時

所：みとよ未来創造館（香川県三豊市役所前）

21世紀も四半世紀が近づき、新たな時代はゆっくりと経過しています。20世紀は物、そして21世紀は物から心へ、そして環境問題へと、その活性化が明日の社会の大きな要となってきました。今回、その展望を考える場作りにと当フォーラムを企画させていただきました。明日の地域を全市で！ より多くの方々のご参加をお願いいたします（河野博）

講演1 「21世紀文化芸術試論」河野博（アートでたんぼ主宰）

物から心の時代へ、文化芸術の新たな提言

講演2 「縮小社会の必然性」松久 寛（京都大学名誉教授）

もう始まっている人類史的な「縮小社会」、人はどう生きていくのか、工学視点からの話。

パネルディスカッション 「激変する地域に7町の文化力を」

かがわ・山なみ芸祭財田実行委員 木俣満穂

宗吉かわらの里展示館館長 琢磨孝治

栗島.com 宮本昌臣 栗島と瀬戸内芸祭

志保山の風穴 真鍋正和 仁尾から三豊へ（7宝山縦走中ライブ）

里山が育む夢 志保山会 豊中発「たのしい」の一言

西香川病院 うちん家 地域医療に地域文化芸術を

産直こだわり市 臼杵秀樹 いま見えてくる新たな農業とは

縮小社会研究会 青野豊一

アートでたんぼ 河野博 農業はなぜ祝祭を持ったのか？

17時 懇親会（オリーブ 三豊市高瀬町佐股 894-3、0875-74-6737）

宿泊（近隣の民家、約4000円、相部屋）

栗島見学と筍掘り

主催：中四国縮小社会研究会

4月28日(日)

9:00-12:00 「Silent 栗島.com」見学と講演、(<https://siaw.jimdo.com/>)

講演 「私が離島で描く夢とは？」 宮本昌臣

<島で生きる!!> 社会が縮小して困る人とはどのような階層の人なのでしょうか？老人？若者？役人？民間人？消費社会が推進する未来に、若者たちが家族と共に描く、豊かな人生設計の余地はあるのでしょうか？超高齢化が進む瀬戸内の離島から提案する。

昼食：うどん

13:00-15:00 筍掘り 解散（筍をお土産に、宅急便での郵送可）

参加登録

参加希望の方は、青野（連絡先は下記）まで連絡してください。宿泊と懇親会の予約は4月10日までに。

農民が農地・山林を相続することは、何の特権でもない。これは、義務である。私には見えない黒い紐(田畑山林、そして家)が背中にもくっついていて、切っても切っても、またまた生えて来る。夢にまで出てきた。逃げれば逃げるほど、この黒い紐は太く頑丈になる。とうとう、疲れてしまった。逃げるから追いかけて来るのだ。そう思い、60歳にして、この見えない黒い紐の中に飛び込み、田畑の耕作をすることにした。そうすると、この紐を意識することはなくなった。そして、農村農業崩壊へのカウントダウンが始まった今、どうしなくてはならないかを考える。

中四国縮小社会研究会 事務局 青野 (hi645z@bma.biglobe.ne.jp 090-1170-3562)